

令和7年度鶴見大学学長裁量経費採択記念

講演会 令和8年2月28日 土 〔入場無料〕

〔会場〕鶴見大学図書館地下1階ホール 〔開演〕11時（10時30分開場）

◆天海版『金七十論』解説…万波寿子（ドキュメンテーション学科講師）

興津香織氏

日本大学文理学部准教授
著書『インド二元論哲学へのいざない』（菅元啓一氏との共著・花伝社 2008）

『金七十論』

—江戸時代のインド哲学研究—

第165回鶴見大学図書館貴重書展示

貴重書展 令和8年2月21日 土 ～3月7日 土

〔会場〕鶴見大学図書館1階エントランスホール

●開館時間は図書館ホームページをご覧ください。

『金七十論』と『勝宗十句義論』

◎主な展示品 寛永一四四年刊天海版『金七十論』／元禄一〇年刊『金七十論』／明和六年刊 晁應撰『金七十論備考』

天海版『添品妙法蓮華經』／宝暦一〇年刊 虎喝撰『科註勝宗十句義論』／安永八年刊 基辨撰『勝宗十句義論釈』

寛政八年刊 快道撰『勝宗十句義論訣釈』／天保一五年刊 法雲講・稻溪・密雲記『十句義論聞記』

●『金七十論』とは、サンキヤ学派（古代インド哲学大学派の二の根本教典『サンキヤ・カリーカ』の注釈書を、訳経僧真諦（499～529）が漢訳したもの。ヨーカ学派の実践哲学に対して、理論哲学のありようを示す。大蔵経中に収録されるインド哲学に関する文献としては『金七十論』とヴァイシーニシカ学派の『勝宗十句義論』があるのみ。日本では、江戸時代後期に学僧による複数の注釈書が刊行されている。

金七十論卷上
三苦所逼故
不定不極故
說此偈緣起昔有
自然四德一法二
身見此世間沉淪
在盲闇中徧觀
千年祠天隱身往
在家之法說是
復更來重說上言
我實戲樂在家之

〔交通〕JR鶴見駅より徒歩10分・京急鶴見駅より徒歩15分

<https://www.tsurumi-u.ac.jp/site/library-official/> https://twitter.com/tsurumiuniv_lib

鶴見大学図書館